平成27年度病害虫発生予報第3号（6月予報）

＜今月のコラム＞　・トマト黄化葉巻病の防除は栽培終了後が最も重要です
・カーチーベー(夏至南風)

＜お知らせ＞　イネヨトウの性フェロモントラップにおける誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/ineyo-phero.html

今月のトピックス

うどんこ病　（ピーマン）
学名：*Oidiopsis sicula*


葉裏に形成された霜状のかび


葉表に形成された褐色の斑点


植物体上の分生子柄と分生子


発病株

生態と被害

本病は葉に発生する病害で、初めは葉裏に薄い霜状のかびを生じ、のちに葉表には淡い黄色の斑紋や褐色の斑点を生ずる。病状が進むと葉の黄化や葉表のかびの発生が確認され、落葉する。落葉が激しいと収量が著しく減少する。本菌は、病斑上に形成された分生子が作業時に飛散することで伝染する。発病適温は25℃で、施設内での発生が多い。高温多湿で発生し、その後やや乾燥条件が続くと被害が拡大する。通風が悪いときに多発生しやすいので、老葉や病葉を除去し、透光通風をよくする。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成27年6月1日
沖縄県病害虫防除技術センター